

施策：	12	セーフティネットの推進	財務コード	12050202-01-655
基本事業：	01	国民健康保険の健全な運営	担当部	市民生活部
基本事業の成果指標	国民健康保険税の収納率 一人当たりの国民健康保険医療費		担当課	国保年金課
			担当係	国保担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
国民健康保険被保険者		筑紫野市国民健康保険はり費及びきゅう費助成に関する規則に基づき、保険対象外であるはり、きゅうに対して助成する。 平成27年度より助成内容を変更した。			
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		助成内容 ・1術（はり又はきゅう）の場合 650円（施術1回につき）を助成 ・2術（はり及びきゅう）の場合 770円（施術1回につき）を助成 1日1回、かつ1月に10回を限度（一疾病に限る）			
保険対象外のはり灸に対して助成をすることにより国民健康保険被保険者の経済的負担軽減を図り、被保険者の健康増進を促す。		業務内容 ・受療証の交付 ・（被保険者の委任を受けた）施術担当者に対し支給			

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
はり灸助成額 / はり灸受診券交付件数 = 一人当たり助成額	円	7,607	10,594					

5. コスト								
事業費	計	千円	2,715	2,945	3,024	3,024		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	1,312		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	2,715	2,945	3,024	1,712			
正職員人工数	人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費	千円	1,584	1,546	1,563				
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)	千円	4,299	4,491	4,587	3,024			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	【交付枚数】R2年度357枚 R3年度357枚 R4年度278枚 【利用状況】R3年度交付者には74歳が多く含まれていたためR4年度に後期高齢者医療に移行する人数が多く、R4年度の交付枚数は減少した一方で、新型コロナウイルス感染症による外出控え、受診控えが解消され利用件数は増加したと考えられる。 【課題】利用者は長期の方が多く、健康増進・医療費削減にどれほど寄与しているか不明。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし
成果向上余地	小さい		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）		改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
筑紫地区5市の国保被保険者及び後期高齢者を対象として実施している。他の健康増進施策があれば筑紫地区5市で協議・検討が必要である。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
昭和47年4月1日に国民健康保険はりきゅう費助成に関する規則を制定して助成を開始する。 国民健康保険被保険者が継続を要望している。	